# わが校のホームページ

## 先進校の充実した活用をみる

**第7回**（最終回）

横浜市立本町小学校

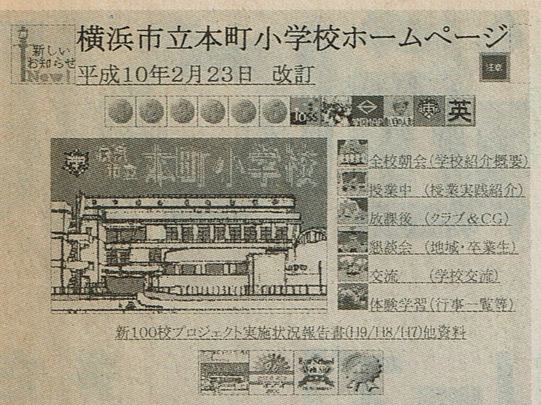
▽ネットワーク責任者
出口　和生
（でぐち・かずお）


出口先生

▽ホームページ担当者
安冨　直樹
（やすとみ・なおき）


安冨先生

exit@honcho-es.naka.yokohama.jp




横浜市立本町小学校ホームページ
平成10年2月23日　改訂

このホームページは，子どもたちと教師の手によって作られています。ここで，提供される資料の著作権は，すべて横浜市立本町小学校に帰属します。使用したり転載したりする場合は，メールにてご連絡ください。

横浜市立本町小学校 Honcho-System(gasto@honcho-es.naka.yokohama.jp)
〒231　神奈川県横浜市中区花咲町3－86
TEL 045-231-0141
FAX 045-302-5065
1995, Honcho-es.naka.YOKOHAMA, All rights reserved.

なお，本校保護者及び関係者の方等で校内イントラネットにアクセスを希望される方は，左のボタンをクリックしてください。
イントラ

## 小学生の作品で埋めつくす――地域との接点に

### Ⅰ）ホームページ発信で何ができる？

#### 1.インターネット発信対象は、世界へ？

「さぁ！インターネットだ！世界へ発信！！」

平成6年、初めて100校プロジェクトの話を聞いたときに考えたことは、「世界とつながる」ということでした。世界の小学校と交流することが、インターネット活用の一番のメリットで、そのためにホームページも英語版を作った方がよいと考えました。しかし……平成7年、実際にインターネットに接続されるとその考えはすぐに崩れ去りました。外国語を知らない小学生と外国語の専門家のいない教師集団の公立小学校では、翻訳に要する労力がたいへんなことに気付いたからです。

平成7年6月、それならばということで「日本とつながる」ことを最優先に考えたホームページを立ち上げました。日本中の人たちに向けて情報を発信することが、日本語ホームページの持つ意味だと考えたからです。しかし……この考えも1通のメールから方向転換をしていきました。そのメールとは、ホームページ上に公開されていた子どもの作品に対する保護者からのメールでした。

そして、このころから、「ホームページはできる限り小学生の作品で埋め尽くそう」と考え始め、現在の本町小学校ホームページの原型が作られました。

#### 2.公立小学校ホームページって誰が見るだろう？

「公立小学校」は地域の中心にあって、何か行事があると町の人たちが集まってきて情報交換をする場所というのは、昔も今も、そして未来も変わらないことでしょう。しかし、本校学区のようにマンションや団地も多くなり、近隣とのコミュニケーションも取り難い状況になってくると、情報伝達手段もそれに応じたものが求められてくると考えられます。

そこで、インターネットによる小学校の情報公開が、こうした時代の動きに対応する一つの有効な手段になると考え、本町小学校のホームページは「保護者とつながる」「地域とつながる」ことを考えながら公開されていくようになっていきました。

#### 3.地域施設サイトを有効に使おう！

公立小学校の学区というと子どもたちが歩いて行ける範囲です。ですから、この学区中にあるインターネットサイトは、インターネット上で見ることもできますし、実際に歩いて行くこともできるということになります。

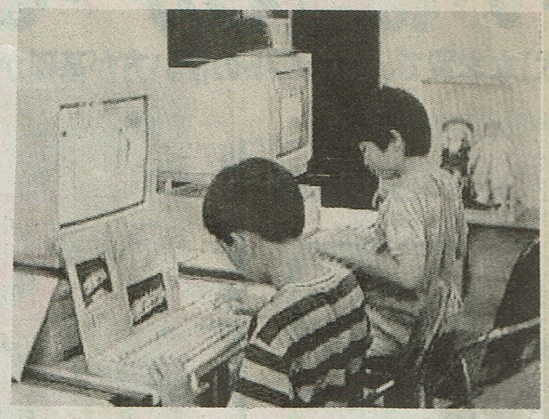
小学生の学習面から考えると、インターネット上のバーチャル体験と自分の足でかせいだ実体験とをミックスした情報収集活動が可能になるのです。

横浜市立本町小学校には、横浜市中心部が学区という特徴があるので、このメリットを生かさないわけにはいきません。学区内にある横浜市役所をはじめとするサイトに連絡を取り、リンクをはるとともに、小学生に役立つ情報の掲載をお願いしています。

#### 4.卒業しても小学校は心の故郷に！

「自分が卒業した学校のホームページが見られるなんて信じられません。思わず、校歌を口ずさんじゃいました。」

ホームページを開設して以来、こうした嬉しいメッセージをいただくことがあります。今のところ、あまり多くはありませんが、今後インターネットの普及とともに飛躍的に増える可能性があります。卒業生のヒューマンネットワークの拠点となれたら、これこそ公立小学校がホームページを持つ大きな意義になるでしょう。そうした願いもこめて、「OBOGページ」が開設されています。また、卒業生の中から「世代の違う方とのメーリングリストを作ってくれないだろうか。」というご意見をいただき、卒業生メーリングリストも作成されました。まだ、小さなメーリングリストですが、今後の公立小学校ホームページの方向性を示すものになるかもしれません。



もどる

### ご連絡いただいた本町小学校OBOGの方々

本校システム宛にメールをいただいき，公開を承諾していただいた方々です。
メールアドレス等は無断公開しませんので，本校OBOGの方は，ぜひ 書式フォームまたはシステム宛メールをお送り下さい。同窓生の出会いの場となればうれしいです。
また，OBOGメーリングリストを作成しています。「3年生昔探し」を中心とした昔の学校の話？を共有することを目的としています。ご参加いただければ幸いです。

| 年度 | 在籍 | イニシャル | 在住地 | 備考 | ML |
|---|---|---|---|---|---|
| 昭和22年度 | 卒業 | Y. A. さん | 横浜市港南区 | 吉田・老松・横浜小統合年卒 | |
| 昭和35年度 | 卒業 | S. K. さん | 横浜市南区 | | |
| 昭和42年度 | 卒業 | K. E. さん | 東京都世田谷区 | | |
| 昭和43年度 | 卒業 | Y. O. さん | 横浜市青葉区 | 実家は学区内 | |
| 昭和44年度 | 2年在籍 | H. N. さん | ハワイ・ホノルル | | |
| 昭和45年度 | 卒業 | K. T. さん | 横浜市西区 | | |
| 昭和50年度 | 卒業 | Y. I. さん | 藤沢市 | | |
| 昭和52年度 | 卒業 | N. S. さん | 横浜市旭区 | | |
| 昭和53年度 | 卒業 | T. K. さん | | | |
| 昭和59年度 | 卒業 | Y. S. さん | | 現校舎完成年卒 | |
| 昭和59年度 | 卒業 | F. K. さん | 横浜市港北区 | | |
| 昭和59年度 | 卒業 | M. H. さん | 横浜市西区 | | |
| 昭和59年度 | 卒業？ | | 東京都 | 3年時裏山にタイムカプセル | |
| 平成 4年度 | 卒業 | Y. E. さん | 横浜市中区 | | |
| 昭和？年度 | 卒業 | H. M. さん | 横浜市中区 | | |
| 昭和？年度 | 在籍 | K. H. さん | 東京都 | | |
| 昭和？年度 | 卒業 | M. Y. さん | | 旧校舎在籍 | |

ご意見、ご感想は下記までよろしくお願いします。
Honcho-System (gasto@honcho-es.naka.yokohama.jp)

### Ⅱ）教師も子供もみんなで創るホームページ

#### 1.開かれた学校へ（教師が創るページ）

「本町だより」は、毎月発行される学校情報掲載プリントですが、このプリントの学区内全町内会への配布を3年前から行っています。地域のネットワーク拠点として「ふれあい」を大切にしたいと考えてのことです。

これを更に発展させて、昨年度からホームページ上でも「本町だより」を見られるようにしました。より多くの地域の方に横浜市立本町小学校のことを知ってもらいたいからです。また、インターネットに接続できる保護者は、学校へ直接メールで意見や感想を送ることもできることになります。新たなコミュニケーションの可能性も見えてきます。

更に今年度からは、「学年だより」の公開もはじめています。第2学年が1学期から、第4学年が2学期から毎週発行されている学年だよりをHTML化して、ホームページに掲載を続けているのです。近い将来、この学年だよりを通して、全学年の活動の様子を毎週インターネット上に公開できると思います。「開かれた学校」であるとともに、子供たちの成長の足跡を残していくことができるはずです。

#### 2.子供とともに創る学校へ（子供が創るページ）

現在のホームページには、平成7年度から平成9年度までの主な学校行事や体験活動のページがあります。このページの創り方に現在の本町小学校ホームページ創りの歩みを見て取ることができます。






ご意見、ご感想は下記までよろしくお願いします。
本町小システム(gasto@honcho-es.naka.yokohama.jp)

たとえば、「全校野外活動」のページをご覧下さい。
http://www.honcho-es.naka.yokohama.jp/event/kishine/kishine.htm

平成7年度は、事前に撮影した画像を見ることができるページを創りましたが、すべて教師の手によるものでした。平成8年度は、インターネットクラブの子供たちがデジタルカメラを持ち、撮影は子供たちの手で行いました。しかし、ページ作成は子供たちには難しく、結局教師が行いました。そして、平成9年度は、タイトルページは教師が創りましたが、中のページは子供たちが自分たちの手で創り上げていきました。

このページ創りのベースとなる活動が、6年生日記です。1年半にわたり、6年生が毎日ページ創りを続けています。
http://www.honcho-es.naka.yokohama.jp/nikki/199802.htm

また、子供たちと教師が力を合わせてページを創り、活動が広がってきているものに「青い目の人形ページ」があります。ぜひご覧ください。
http://www.honcho-es.naka.yokohama.jp/honcho/doll/doll.htm

公立小学校のホームページを子供たちだけで創ることはできません。しかし、子供たちとともに創っていくことはできます。教師はコーディネーターになればよいのです。

## 「魅力あるページ」へ――テクニックをアドバイス

全国に残る「青い目の人形」をつなごう！

「青い目の人形」保存施設一覧
6年生から全国へのメッセージ(H9.3.3)
「青い目の人形メーリングリスト」案内(H9.5.5)
これまでの調査・連携の足跡(H9.5.5)


「青い目のお人形」の歌

「青い目の人形」情報掲載校へのリンク




#### 3.地域とともに創る学校へ（保護者が創るページ）

これは残念ながらまだ実現していません。近い将来、ホームページの中に「地域伝言板」のようなページを地域の方の手で創ってほしいと思っています。

### Ⅲ）見えないページの必要性（イントラネット）

誰でも読める開かれたホームページになればなるほど、一部の人にしか読まれてはならないデータも出てきます。たとえば、子供たちが自分の個人情報を記載したページや特定の相手（姉妹校・保護者など）だけに向けて発信したページなどです。これらのページは、子供たちにとってはインターネット上に掲載することを目的に創られています。たとえ、ほとんどの人にとって必要のないページであっても、子供たちの夢や希望は実現してあげたいと考えています。そこで、イントラネットの重要性が生まれてきました。現在のホームページには、実は2種類のアクセス制限があります。

1　パスワードを入力しないと見えないページ
2　学校内のコンピュータからしか見えないページ

1は、主に遠隔地姉妹校や保護者が対象と考えています。2は、インターネットとシームレスで見えるメリットを考えたページで、異学年間で自己紹介をしたり授業参観で来校した保護者がアクセスすることを想定しています。

今後、インターネットそのものの技術やインフラが整備されてくると、この基準も変わってくるでしょう。しかし、この「見えないページ」の使い分けはますます必要になってくるのではないでしょうか。

### Ⅳ）地域のヒューマンネットワークの拠点をめざして

100校プロジェクトの募集があった平成6年から平成9年の間に、インターネットの世界そのものも激変し、小学校ホームページが珍重される時代も終わりました。すべての学校がインターネットに接続されてくると、それぞれの学校の特色を打ち出したホームページが求められてくるでしょう。公立小学校の特色とは、「地域・学区」「保護者との連携」ではないでしょうか。

「公立小学校は地域のヒューマンネットワークの拠点」なのだから…。